



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月5日

上場会社名 丸一鋼管株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5463 URL http://www.maruichikokan.co.jp
 代表者(役職名) 代表取締役会長兼CEO(氏名) 鈴木 博之
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員 経理部長(氏名) 河村 康生 (TEL) 06-6531-1201
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日~平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	31,541	△14.8	5,399	69.1	5,784	52.8	1,171	△64.4
28年3月期第1四半期	36,999	△0.0	3,193	△37.0	3,785	△31.8	3,292	△11.4

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △1,111百万円(-%) 28年3月期第1四半期 2,952百万円(△17.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	14.16	14.14
28年3月期第1四半期	39.00	38.97

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	284,665	236,580	79.8
28年3月期	294,871	241,878	78.7

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 227,184百万円 28年3月期 232,187百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	25.00	—	52.00	77.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	25.00	—	51.00	76.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日~平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	65,800	△11.5	11,300	49.8	11,800	37.3	8,400	27.6	101.52
通期	134,800	△7.0	22,300	31.0	23,000	21.4	16,400	46.6	198.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	94,000,000株	28年3月期	94,000,000株
29年3月期1Q	11,255,385株	28年3月期	11,255,369株
29年3月期1Q	82,744,623株	28年3月期1Q	84,426,096株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な企業業績、雇用環境の改善などを背景に景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方、海外では、米国経済は企業業績、雇用や個人消費なども堅調に推移しましたが、英国のEU離脱の選択、中国経済の成長鈍化及び新興国経済の減速などから、景気の先行きは不透明な状況で推移致しました。

鉄鋼業界は、国内需要は低調でありましたが、海外は中国の一時的ではあったものの急な減産と価格引き上げの動きに端を発し、昨年を通じて大幅に値下がりが続けた市況も反転して値上げ基調に転じました。但し、個々の地域セグメントにより事業環境は異なっております。

(日本)

国内事業につきましては、当社の主力製品である建築・土木用鋼管の需要減や、震災などの影響による自動車向け製品の数量減により、販売数量は前年同期比減少致しました。一方、国内外高炉はコイル価格値上げを発表しており、当社製品は不採算取引価格の改善に努めましたが、需要が低調で市況が軟化する状況下での値上げは難しく、現状維持に注力するのが精一杯でありました。以上により、国内事業は売上高は203億8千9百万円（前年同期比11.2%減）となり、一方、昨年は転嫁できない原材料の値上がりがあり悪化したセグメント利益は、今期はその影響が無く44億1千7百万円（前年同期比22.1%増）の結果となりました。

(北米)

北米事業につきましては、マルイチ・レビット・パイプ・アンド・チューブLLC社の前年比の販売数量の減少と価格低下などにより、売上高は58億5千3百万円（前年同期比10.7%減）と減少致しましたが、同社の償却費負担の減少や、米国の鋼材市況の回復により、セグメント利益は4億7千1百万円（前年同期はセグメント損失3億7千1百万円）と黒字転換致しました。

(アジア)

アジア事業につきましては、ベトナムのマルイチ・サン・スチール・ジョイント・ストック・カンパニー（SUNSCO社）では、ベトナム市場及び輸出市場の競争激化から前年比で販売数量の減少と価格低下のため、売上高は52億9千7百万円（前年同期比29.1%減）と減少しましたが、中国からのコイル輸入数量減により東南アジアの鋼材市況が回復し、セグメント利益は5億2百万円（前年同期はセグメント損失9千8百万円）と北米セグメントと同様に黒字転換しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高は315億4千1百万円（前年同期比14.8%減）、営業利益は53億9千9百万円（前年同期比69.1%増）、経常利益は57億8千4百万円（前年同期比52.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億7千1百万円（前年同期比64.4%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益が前年同期比減少したのは、親会社において投資有価証券評価損を25億8千6百万円計上したことによるものです。

なお、対米ドル換算レートは1米ドル115円48銭であります。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は2,846億6千5百万円（前年度比102億6百万円の減少）となりました。

主な内容は、流動資産については、主として現金及び預金が84億2千2百万円増加しましたが、有価証券が109億5千4百万円、受取手形及び売掛金が9億6千5百万円、原材料及び貯蔵品が8億5千2百万円減少したことなどにより流動資産合計で52億5千7百万円減少しました。固定資産については、投資有価証券が34億7千9百万円減少したことなどにより、固定資産合計で49億4千9百万円減少しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は480億8千4百万円（前年度比49億7百万円の減少）となりました。

主な内容は、支払手形及び買掛金が27億4千8百万円、未払法人税等が21億8百万円減少したことなどにより、流動負債合計で32億3千万円減少しました。固定負債については、長期借入金が12億8千1百万円減少したことなどにより、固定負債合計で16億7千7百万円減少しました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は2,365億8千万円（前年度比52億9千8百万円の減少）となりました。

主な内容は、利益剰余金が、親会社株主に帰属する四半期純利益11億7千1百万円に対して、配当金の支払43億2百万円などにより、31億2千5百万円減少したことに加えて、為替換算調整勘定が20億2千1百万円減少したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月11日に公表いたしました業績予想の修正を行っております。詳細につきましては、本日開示しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

セグメント別の今後の見通しについては、以下のとおりです。

(日本)

国内事業につきましては、景気の先行き不透明感により主力製品である建築・土木用鋼管需要は低迷しておりますが、下期以降はオリンピック関連の建築需要の増加が見込まれます。販売価格に関しては陥没価格の是正や原材料コイルの値上げに見合った製品の値上げに取り組んでまいります。

(北米)

北米事業につきましては、アンチダンピング関税措置の発動の影響で米国の鋼材市況が急上昇しており、4-6月期において需要(仮需要)が増えております。下期は未だ不十分である製品価格への転嫁に注力してまいります。尚、エネルギー関連需要は当面低調と判断されます。特に2年目に入ったオレゴン州のマレイチ・オレゴン・スチール・チューブLLCはカリフォルニアを中心とするマレイチ・アメリカン・コーポレーションとの協働により、カナダを含めた北西部での存在感を高める努力を行ってまいります。

(アジア)

アジア事業につきましては、ベトナムSUNSCO社では、高品質な製品を供給することで、ベトナム国内及び近隣国への販売体制の強化を図り、シェア拡大に努めてまいります。また、メッキコイル及びカラーコイルの米国向け輸出にも注力してまいります。インドのマレイチ・クマ・スチール・チューブ・プライベート・リミテッドでは、径の大きい4インチの薄肉造管機を9月中に設置し、大型車の排ガス規制に対応した排気管の需要への対応に努めてまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第1四半期連結累計期間における四半期連結財務諸表への影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	65,279	73,702
受取手形及び売掛金	30,643	29,677
有価証券	25,064	14,110
製品	8,986	8,146
原材料及び貯蔵品	13,540	12,688
その他	4,464	4,398
貸倒引当金	△28	△28
流動資産合計	147,951	142,694
固定資産		
有形固定資産		
土地	32,717	32,563
その他	52,114	51,044
有形固定資産合計	84,832	83,607
無形固定資産		
のれん	873	793
その他	1,295	1,195
無形固定資産合計	2,168	1,988
投資その他の資産		
投資有価証券	56,823	53,343
その他	3,096	3,030
投資その他の資産合計	59,919	56,374
固定資産合計	146,920	141,971
資産合計	294,871	284,665

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,857	15,109
短期借入金	9,301	9,586
未払法人税等	4,127	2,019
賞与引当金	861	428
役員賞与引当金	70	55
その他	6,076	7,864
流動負債合計	38,294	35,063
固定負債		
長期借入金	8,500	7,218
役員退職慰労引当金	77	61
退職給付に係る負債	3,093	3,083
繰延税金負債	2,794	2,423
その他	232	232
固定負債合計	14,698	13,020
負債合計	52,992	48,084
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,595	9,595
資本剰余金	15,821	15,821
利益剰余金	228,340	225,215
自己株式	△26,963	△26,963
株主資本合計	226,794	223,668
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,580	4,724
為替換算調整勘定	889	△1,132
退職給付に係る調整累計額	△77	△75
その他の包括利益累計額合計	5,392	3,516
新株予約権	122	122
非支配株主持分	9,569	9,273
純資産合計	241,878	236,580
負債純資産合計	294,871	284,665

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	36,999	31,541
売上原価	30,551	23,118
売上総利益	6,448	8,423
販売費及び一般管理費	3,254	3,023
営業利益	3,193	5,399
営業外収益		
受取利息	20	32
受取配当金	464	294
持分法による投資利益	83	160
為替差益	38	—
その他	204	271
営業外収益合計	811	759
営業外費用		
支払利息	89	71
為替差損	—	207
不動産賃貸費用	81	66
その他	48	28
営業外費用合計	219	374
経常利益	3,785	5,784
特別利益		
固定資産売却益	73	11
投資有価証券売却益	1,840	—
その他	1	—
特別利益合計	1,914	11
特別損失		
固定資産除却損	3	8
投資有価証券評価損	—	2,586
その他	1	0
特別損失合計	4	2,596
税金等調整前四半期純利益	5,696	3,200
法人税等	2,552	1,840
四半期純利益	3,143	1,359
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△149	188
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,292	1,171

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	3,143	1,359
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△77	△1,005
為替換算調整勘定	△122	△2,152
退職給付に係る調整額	9	7
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	679
その他の包括利益合計	△191	△2,470
四半期包括利益	2,952	△1,111
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,135	△705
非支配株主に係る四半期包括利益	△183	△405

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	日本	北米	アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	22,966	6,556	7,477	36,999	—	36,999
セグメント間の 内部売上高又は振替高	50	—	—	50	△50	—
計	23,016	6,556	7,477	37,049	△50	36,999
セグメント利益又は損失(△)	3,617	△371	△98	3,147	46	3,193

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額46百万円はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	日本	北米	アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	20,389	5,853	5,297	31,541	—	31,541
セグメント間の 内部売上高又は振替高	434	—	—	434	△434	—
計	20,824	5,853	5,297	31,976	△434	31,541
セグメント利益	4,417	471	502	5,392	7	5,399

(注) 1. セグメント利益の調整額7百万円はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。